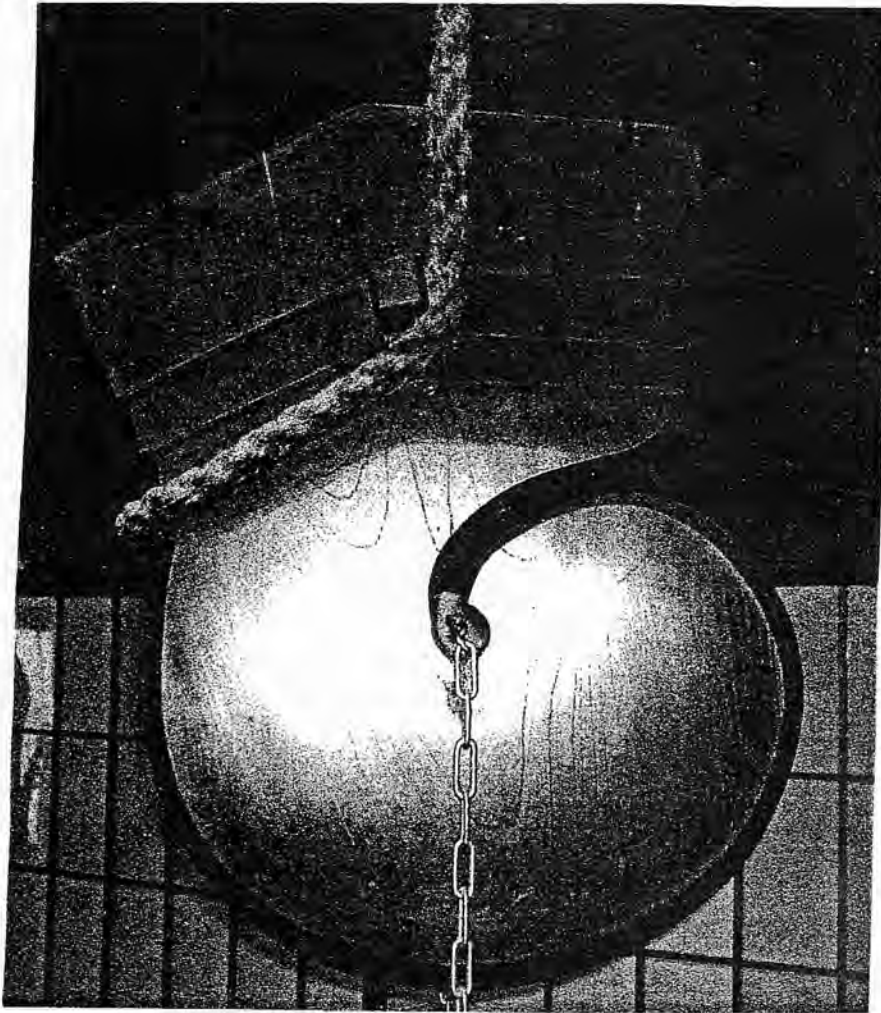


福島の権威と二日読み

福田家にある自在かぎの写真を見て、しみじみと福島県の権威と、いかに昔の福島人は誇りを持って働いたかを考えています。

この自在かぎは、吉田捨次郎の製作したものである。

吉田さんは、神社建設に当たり入札をしていますが、名工であるという事は誰も知らないものが居ないくらい有名でした。



今、石川県では「利家とまつ」のテレビ放送で全国の注目を浴びていますが、先に示した「二日読み」の、更なる一部を示すと。

「後世願いしても、耕作や稼ぎの手つかえ、にならないようにしなければならぬ」と肝煎りを通じて嚴重に申し渡しています。

また「郡の中に新しい寺や道心寺を作らせてはならぬ」など、肝煎りの権威で総て、「お上の取り決めを守らせようとした」時のシンボルがこの絢爛たる自在かぎである、と言うことを忘れないで欲しい。

